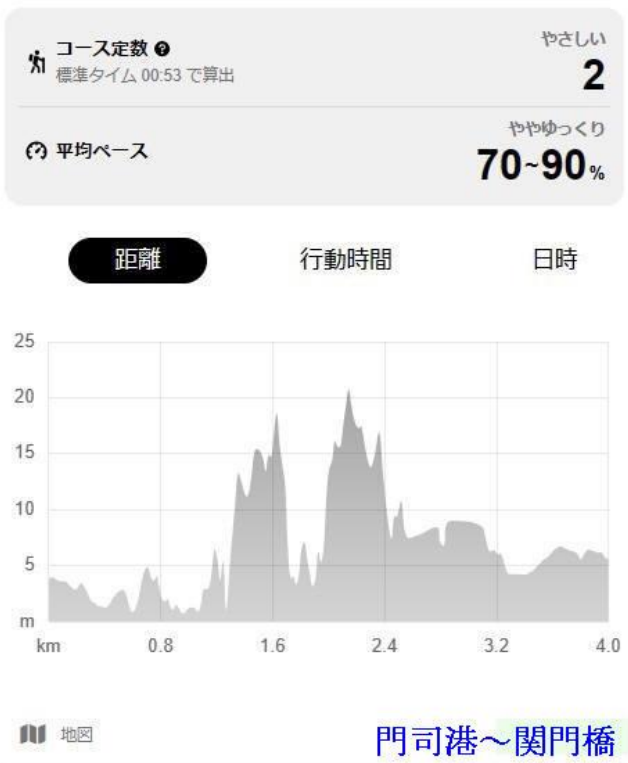


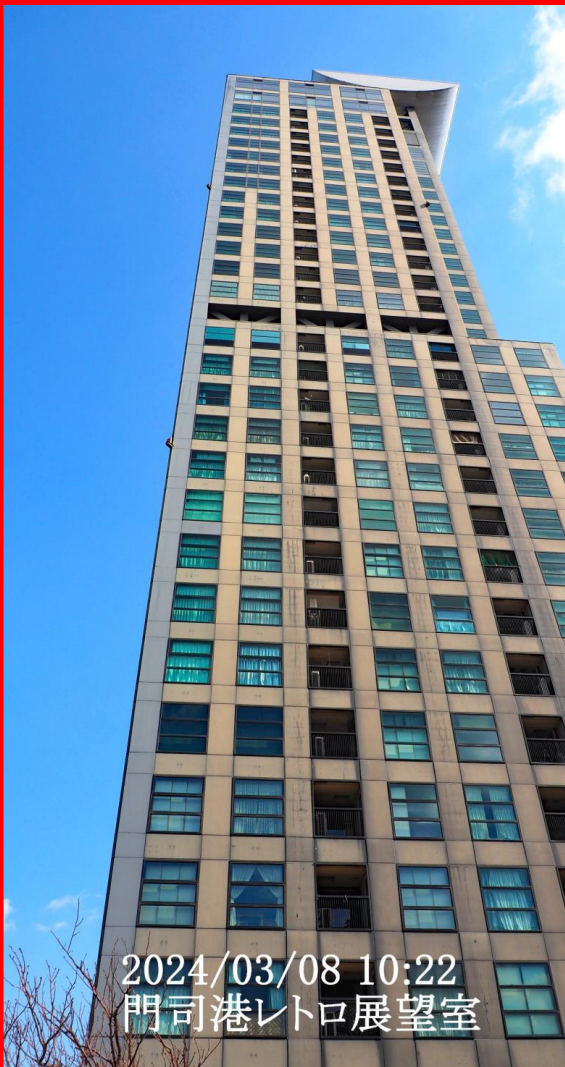
2024.03.08 福岡37会

北九州市門司区・門司港レトロ、和布刈（めかり）神社

🕒 タイム **01:13** 歩 距離 **3.3km** 📈 のぼり **60m** 📉 くだり **49m** 🔥 カロリー **265kcal**



2024.03.08 ヤマップ活動日記



2024/03/08 10:22 門司港レトロ展望室



2024/03/08 11:44 和布刈神社

11004202/



鉄道株主優待券
【非売品】本券の売買等はありません

1日乗車券

2023年7月1日～2024年6月30日の1日に限る

<ご利用方法>

- 本券1枚につき、お一人さまのご利用に限りです。
- JR九州の営業路線完結の区間に限ります。
- 普通・快速列車に乗降可能です。
- 普通・快速列車の指定席、九州新幹線、西九州新幹線及びその他の特急列車にご乗車の場合は、別途特急券等が必要です。
- 山陽新幹線 博多駅～新大阪駅間及び博多南線につきましては、JR西日本の営業路線のため、ご利用いただけません。



九州旅客鉄道株式会社



<日付記入欄>

に限り有効

2024/03/08 09:12



5

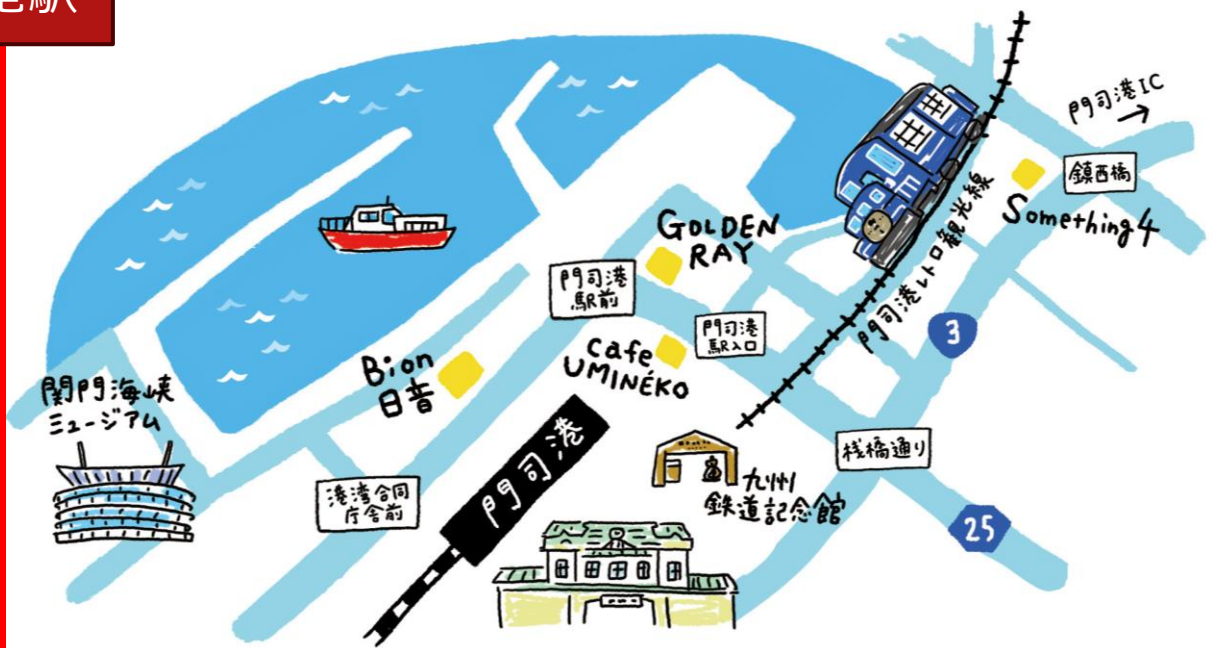
2024/03/08 9:12

門司港駅

門司港名所案内

- | | |
|--------|-----------------------------|
| 門司港レトロ | 門司港駅・旧三井倶楽部 (レトロ施設の重要文化財) |
| | 旧大阪商船・旧門司税関・北九州市大連友好記念館 |
| | ブルーウィングもじ(はね橋)・門司電気通信レトロ館 |
| 和布刈公園 | 和布刈神社 北東 2.5キロメートル バス10分 |
| | 古城山 世界の平和パゴダ(仏塔) |
| | 関門国道トンネル 人道延長 780メートル バス10分 |
| | 関門橋 橋全長 1,068メートル バス10分 |
| | 周遊地 |

2024/03/08 9:13





哩

谷 塚 站

ここは九州の鉄道の起点となつたところ
です

明治24年4月1日 この門司港駅(当
時の門司駅)から五名駅(当時の高瀬駅)
まで鉄道が開通しました このとき門司港
駅に0哩標が建てられ九州の産業と文化
はここを起点として延びる鉄路とともに
栄えてまいりました その後 駅舎の移転
により0哩標は撤去されて今日にいたしま
した

ここに 鉄道開業100周年を記念し
先人の偉業をしのびつつ再び0哩標を建立
しました

昭和47年10月14日

日本国有鉄道九州総局



● 哩
谷 塚 站

ここは九州の鉄道の起点となつたところ
です
明治24年4月1日 この門司港駅(当
時の門司駅)から五名駅(当時の高瀬駅)
まで鉄道が開通しました このとき門司港
駅に0哩標が建てられ九州の産業と文化
はここを起点として延びる鉄路とともに
栄えてまいりました その後 駅舎の移転
により0哩標は撤去されて今日にいたしま
した
ここに 鉄道開業100周年を記念し
先人の偉業をしのびつつ再び0哩標を建立
しました
昭和47年10月14日
日本国有鉄道九州総局

帰 り 水

2024/03/08 9:19
帰り水

帰 り 水

この水道(水呑處)は、駅が開設(大正3=1914年)された頃に設置されたもので、以来、旅行者に門司の「おいしい水」を供給し続けています。
とくに、戦前の海外旅行帰国者をはじめ終戦後の復員や引揚の人達が、門司に上陸して安堵の思いで喉を潤したところから、(誰言うとなく)「帰り水」と呼ばれる様になりました。

この水道(水呑處)は、駅が開設(大正3=1914年)された頃に設置されたもので、以来、旅行者に門司の「おいしい水」を供給し続けています。
とくに、戦前の海外旅行帰国者をはじめ終戦後の復員や引揚の人達が、門司に上陸して安堵の思いで喉を潤したところから、(誰言うとなく)「帰り水」と呼ばれる様になりました。



関門連絡船通路跡

門司港駅



〈旧監視孔〉

詳細は不明ですが、ここは戦争末期、軍の命令で設置された渡航者の監視所跡です。
門司港は、外国航路寄港地の為、関門連絡船の通路は、戦時下の不審者を監視する絶好の場所でした。
監視孔は反対側にもあり、内部が分かりにくい構造で、横に入り口を塞いだ跡があります。

〈旧監視孔〉

詳細は不明ですが、ここは戦争末期、軍の命令で設置された渡航者の監視所跡です。
門司港は、外国航路寄港地の為、関門連絡船の通路は、戦時下の不審者を監視する絶好の場所でした。
監視孔は反対側にもあり、内部が分かりにくい構造で、横に入り口を塞いだ跡があります。



2024/03/08 9:26
門司港駅

門司港駅の歴史

明治時代

1888-1912



明治24年以降

1891(明治24)年、現在の約200メートル東方に九州鉄道の起点駅として、初代門司駅が開業しました。門司港は1901(明治34年)には一時的に日本一の入出港量数となり、その後も神戸に次ぐ国内第二の港として栄えました。このような発展に伴って駅舎が手狭になったことや、関門連絡船へのアクセスの向上のため、1914(大正3)年に海沿いの現在地へと駅舎を移しました。

- 明治21 九州鉄道会社設立
- 明治24 先代門司駅開業、九州鉄道会社 博多より門司に移転
- 明治27 日露戦争
- 明治34 関門連絡船開通、八幡製鉄所操業開始
- 明治37 日露戦争
- 明治39 関門連絡船 国有化
- 明治40 九州鉄道 国有化
- 明治42 鹿児島本線全通、二代目博多駅竣工

大正時代

1912-1926



大正3年

大正3年に竣工した時の写真です。当時は門司港駅でなく門司駅と呼ばれていました。現在の駅舎のシンボルとなっている大時計はついておらず、小さな鐘りのようなものが取り付けられていることが分かります。また、正面の広場も舗装されておらず、埋め立てた地面がもき出しだったことが分かります。

- 大正2 現駅舎 工事着手
- 大正3 関門連絡船機橋 改築工事着手
現駅舎 竣工・営業開始(2月1日)
東京駅 竣工・営業開始(12月20日)
第一次世界大戦開戦
- 大正5 大正天皇行幸
- 大正7 大時計設置
- 大正8 第2乗降場新設
- 大正9 皇太子行啓
- 大正11 皇后行啓
- 大正12 関東大震災
- 大正13 関門連絡船 乗用車運送開始
- 大正15 門司駅浮桟橋改修

昭和時代



昭和3年

昭和3年に撮影された駅舎の写真です。駅舎の上には大時計が設置されています。大時計は大正7年に設置されたものであることが分かります。また、正面の広場には噴水や街灯が設置されています。

- 昭和4 正面上家設置、世界恐慌
- 昭和5 駅前バスの乗り入れ開始
- 昭和6 連絡上家・西側上家・倉庫設置、
3等待合室・小荷物取扱室改造、
連絡船乗船場地下道(人道・車道)使用開始
- 昭和10 電信室を特別応接室に改造・2階の貴賓室廃止、
貴賓用階段・出札室改造、
関門鉄道トンネル工事着手
- 昭和14 第二次世界大戦開戦
- 昭和17 門司駅→門司港駅へ改称、関門鉄道トンネル開通



昭和4年頃

昭和4年頃に撮影された駅舎の写真です。広場にはたくさんの自動車が入り込んでおり、正面には車から乗降するための大庇が設置されています。

- 昭和20 駅舎とホームが爆撃を受ける(戦災)、
門司港駅R.T.O®設置、特別応接室接収、
第二次世界大戦終戦
- 昭和21 門司港駅R.T.O®廃止、関門連絡船機橋修復工事竣工
- 昭和23 門司鉄道管理局 旧三井物産ビルに移転
- 昭和26 みかど食堂 1階に移転、内部・屋根改修
- 昭和27 鉄道弘済会門司支部 2階に移入
- 昭和33 行幸啓で2階内部改修、関門国道トンネル開通
- 昭和38 屋根改修、五市合併 北九州市門司区に

1926-1989



昭和30年頃

昭和30年頃に撮影された駅舎の写真です。外壁は戦前に黒く塗られており、正面の庇下はバス乗り場として使われていたようです。

- 昭和46 内部・屋根改修
- 昭和48 関門橋開通
- 昭和50 新幹線 岡山-博多間開通
- 昭和53 外壁塗装塗直し
- 昭和55 1階内部改修
- 昭和56 みかど食堂 閉店
- 昭和58 門司港駅保存会発足
- 昭和59 門司港駅保存会募金により屋根葺替
- 昭和62 2階ホール改修工事竣工、一般開放開始
九州旅客鉄道(株)発足
- 昭和63 重要文化財指定

平成時代

1989-2019



平成24年

平成24年に撮影された写真です。緑色の屋根に薄ピンク色のベンキが塗られた外壁でした。建物の全体の色合いが分かります。駅前の広場は平成5年に整備されたもので、駅東側にロータリーを設けることで歩道を分離しています。

- 平成1 1階内部改修
- 平成5 門司港駅交通広場完成
- 平成7 門司港レトロオープン
- 平成10 門司港ホテル オープン
- 平成11 海峡プラザ(複合商業施設) オープン
- 平成13 九州旅客鉄道(株) 福岡本社に統合
- 平成15 第二乗降場上家屋根葺替・塗装修理
九州鉄道記念館オープン、
海峡ドラマシップ(屋内型観光施設)オープン
- 平成18 本屋裏朽部鉄骨補強工事
- 平成24 保存修理工事着手
- 平成31 保存修理工事完成、グランドオープン

門司港駅の歴史

1888-2019

History of
Mojiko Station

明治時代

1888-1912



明治24年以降

三宅 俊郎著「鉄道古写真」より

1891(明治24)年、現在地の約200メートル東方に九州鉄道の起点駅として、初代門司駅が開業しました。門司港は1901(明治34年)には一時的に日本一の出入港隻数となり、その後も神戸に次ぐ国内第二の港として栄えました。このような発展に伴って駅舎が手狭になったことや、関門連絡船へのアクセスの向上のため、1914(大正3)年に海治いの現在地へと駅舎を移しました。

明治21 九州鉄道会社設立

-
-

明治24 先代門司駅開業,九州鉄道会社 博多より門司に移転

-
-

明治27 日清戦争

-
-
-
-
-

明治34 関門連絡船開通, 八幡製鉄所操業開始

-
-

明治37 日露戦争

平成時代

1989-2019



平成24年

修理前の平成24年に撮影された写真です。緑色の屋根に薄ピンク色のペンキが塗られた外壁でした。建物全体のいたるところに破損がみられます。駅前の広場は平成5年に整備されたもので、駅東側にロータリーを設けることで歩車を分離しています。

平成1 1階内部改修

-
-

平成5 門司港駅交通広場完成

-
-

平成7 門司港レトロ オープン

-
-

平成10 門司港ホテル オープン

平成11 海峡プラザ(複合商業施設) オープン

-
-

平成13 九州旅客鉄道(株) 福岡本社に統合

-
-

平成15 第二乗降場上家屋根葺替・塗装修理

九州鉄道記念館オープン、

海峡ドラマシップ(屋内型観光施設)オープン

-
-

平成18 本屋腐朽部鉄骨補強工事

-
-

駅舎内にあった食堂
みかど食堂
従業員の写真



みかど食堂のソース瓶
このソース瓶は、昭和26年食堂が閉鎖に移転、解体された際、遺族の食料会社に、60年間の思い出として譲渡された。

旧みかど食堂のソース瓶





2024/03/08 9:32
切符売場

門司港駅



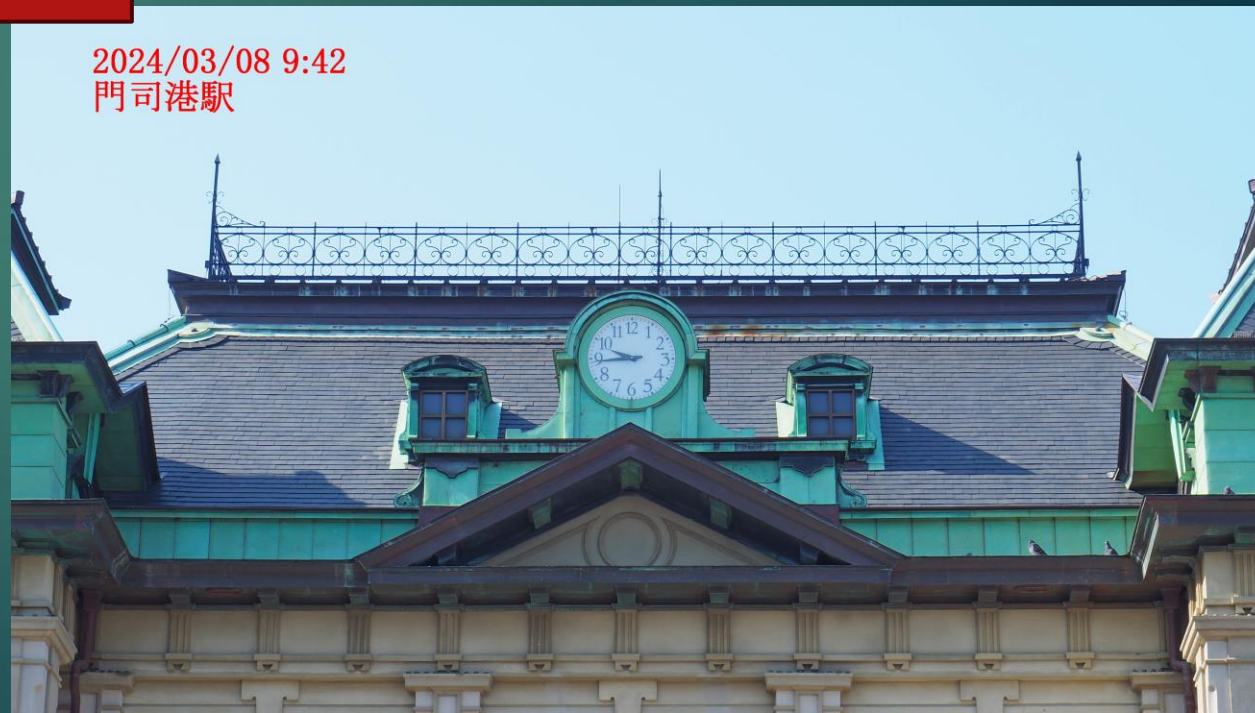
★★Welcome to Mojiko★★

JR九州

寄贈 門司港駅グランドオープン記念事業実行委員会



2024/03/08 9:41
門司港駅



2024/03/08 9:42
門司港駅

日本郵船

CRAFT BEER HALL 門司

CRAFT BEER and PUDDING MOJIKO PUDDINGCUL

門司港 プリンシパル

JP 門司港ビル





日本遺産 JAPAN HERITAGE

関門“ノスタルジック”海峡 3

～時の停車場、近代化の記憶～

Kanmon "Nostalgic" Straits - Memories of Japan's modernization frozen in time -

关门“怀旧”海峡 ～时光的车站、近代化的记忆～

関門“懷舊”海峡 ～时光的車站、近代化的記憶～

간문 “노스탤지크” 해협 ～시간의 정거장, 근대화의 기억～

ช่องแคบคันทัน ช่องแคบคันทัน “โศกนาฏกรรมที่ตรึงเวลา” - ฉันทันคันทันที่ไว้ความทรงจำแห่งการเปลี่ยนแปลงสู่ความเจริญยุคสมัย -

JP門司港ビル (旧：門司郵船ビル)

にほん ゆせん もじ し てん (日本郵船門司支店)

Moji Yusen Building (Nippon Yusen Moji Branch)

門司郵船大樓 (日本郵船門司分部)

門司郵船大樓 (日本郵船門司分部)

모지 유선 빌딩 (닛폰 유선 모지 지점)

ตึกโมจิยูเซ็น (สำนักงานสาขาโมจิของบริษัทรีพอนยูเซ็น)



2次元バーコードで
アクセス



日本郵船会社は、明治25(1892)年に赤間関(現在の下関)支店の出張所として初めて門司港に進出を果たしました。日清戦争後の門司港の繁栄とともに明治36(1903)年には門司支店に昇格します。

大正6(1917)年に大阪商船門司支店が新築開業したのに続いて、昭和2(1927)年に新社屋(現在の門司郵船ビル)が鉄筋コンクリート造4階建で完成します。この地域で最初のアメリカ式オフィスビルで、エレベーターや暖房器具(ラジエーター)、集約型の給湯室、水洗トイレなど、当時の最新設備を備えていました。また、デザインは合理的な平面を生かして、経済的で実用性が高いアル・デコ様式を随所に採用。大陸をはじめ諸外国との交易で経済活動が活発だった門司港の繁栄を象徴しています。改修により現在はシンプルな外観になりましたが、重厚感のある左右対称のファサード(建物の正面)、玄関ホール床にモザイクタイルで描かれた幾何学模様や意匠を凝らした階段の手すりなど、建物の細部に当時の面影が感じられます。

この建物は建築から90年以上経た現在でも現役のオフィスビルとして使用されており、関門地区における近代化の過程を見てきた「生き証人」として、日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」の構成文化財となっています。

関門海峡日本遺産協議会 平成31年3月

日本郵船の門司支店として、昭和2年(1927年)に建設された鉄筋コンクリート造4階建の建物で、旧式のエレベーターが今も稼働しているのは、珍しい。



エレベーター



火の山268m

関門橋

2024/03/08 9:46



門司港



2024/03/08 9:47
門司港



2024/03/08 9:47

下関(唐戸)行 for shimonoseki (karato) 運賃 大人400円 小人200円				巖流島行 for ganyu-jima island 運賃 大人900円 小人450円						
6	15	40	14	10	30	50	(行き)	(帰り)	全便運休	全便運休
7	10	30	50	15	10	30	9	9		
8	10	30	50	16	10	30	10	10		
9	10	30	50	17	10	30	11	11		
10	10	30	50	18	10	30	12	12		
11	10	30	50	19	10	40	13	13		
12	10	30	50	20	10	40	14	14		
13	10	30	50	21	10	50	15	15		
							16	16		

のりば



門司港レトロ
展望室

2024/03/08 9:49



火の山268m

関門橋

2024/03/08 9:50

2024/03/08 9:51
旧大阪商船



北九州市 旧大阪商船

(大正6年建築 1917)

旧大阪商船(株)の門司支店として建築され設計者は、河合幾次。

この建物は木造二階建(一部レンガ型枠コンクリート造)で、屋根に設けられた大きなアーチを配した隅角部の窓と、その上部の八角型の塔屋はドイツ・オーストリアで開花したゼツェシオンの影響を受けたと言われている。

当時としては、化粧レンガの色鮮やかさとヨーロッパ風の塔屋を持ったこの建物は、他を寄せ付けない門司港の象徴的な建物であった。

<p>日本遺産 JAPAN HERITAGE 関門“ノスタルジック”海峡 ④ - 時の停車場、近代化の記憶 - Kamon "Nostalgic" Straits - Memories of Japan's modernization frozen in time - 関門“ノスタルジック”海峡 - 時の停車場、近代化の記憶 - Kamon "Nostalgic" Straits - Memories of Japan's modernization frozen in time -</p>	<p>国登録有形文化財(建造物) きた きゅう しゅう し きゅう おお せか しょう せん 北九州市旧大阪商船 Kitakyushu City Former Osaka Shosen Building 北九州市旧大阪商船 北九州市舊大阪商船 기타큐슈시 구 오사카상선 စတီလအာဘၢနိဂဏ္ဍာန်ဘိမာန်ဇာတိဗိမာန် 関門海峡日本遺産協議会 平成30年3月</p>
--	---

OLD MITSUI O.S.K. LINES LTD. BUILDING
(built in 1917)



2024/03/08 9:53
旧大阪商船



西海岸可動橋 (ブルーウィングもじ) 開閉時刻表

The schedule for the drawing
time of the brige.

	開橋時刻 Raising time	閉橋時刻 Lowising time
1	10:00	10:20
2	11:00	11:20
3	13:00	13:20
4	14:00	14:20
5	15:00	15:20
6	16:00	16:20
7		

このほか特別に開閉することがあります。
The bridge may occasionally be raised at
other than scheduled time.

2. 開橋5分前から通行規制を行います。
Crossing is not permitted for the last 5
minutes before raising

船の出入りのため、時間が多少変わる場合が
あります。

北九州市港湾局

2024/03/08 9:55

プレミアムホテル門司港

2024/03/08 9:56
西海岸可動橋
(ブルーウィングもじ)



プレミアムホテル門司港

2024/03/08 10:00
西海岸可動橋
(ブルーウィングもじ)



2024/03/08 10:01
西海岸可動橋
(ブルーウィングもじ)



プレミアムホテル門司港

ブルーウィングもじ

2024/03/08 10:05
西海岸可動橋



2024/03/08 10:04
西海岸可動橋

海峡ゆめタワー

2024/03/08 10:18
西海岸可動橋
(ブルーウィングもじ)





31F 門司港展望室 MOJIKO RETRO OBSERVATION ROOM

高さ 103m

レトロの街が眼下に広がる超絶景。

門司港レトロ展望室

眺望 270°

関門海峡を一望する大パノラマ。

門司港レトロ展望室

ガラス張りのなみで、
関門海峡の大パノラマを
堪能。

大人	¥300
小学生	¥150
中学生・高校生	¥200
4歳以下	無料

10:00~22:00
（最終入場 21:30）

※観覧券は、
当日現金で発行。

入口 →

2024/03/08 10:22



2024/03/08 10:22
門司港レトロ展望室

2024/03/08 10:29
壇之浦方面



火の山268m

関門橋

2024/03/08 10:35



蓋井島

春帆楼

赤間神宮

2024/03/08 10:31



海峽ゆめタワー

2024/03/08 10:36

皿倉山622m

巖流島

← 関門海峡ミュージアム

2024/03/08 10:37





門司生まれ
「林 芙美子」
は旧門司三
2階にありま

2024/03/08 10:46
作家 林芙美子



2024/03/08 10:55
門司港レトロ展望室



2024/03/08 10:59
ギンヨウアカシア (銀葉金合歡)
マメ科
別名:ミモザ、フサアカシア



ハーデンベルギア マメ科



オオキバナカタバミ
(大黄花傍食)カタバミ科

関門橋

2024/03/08 11:09

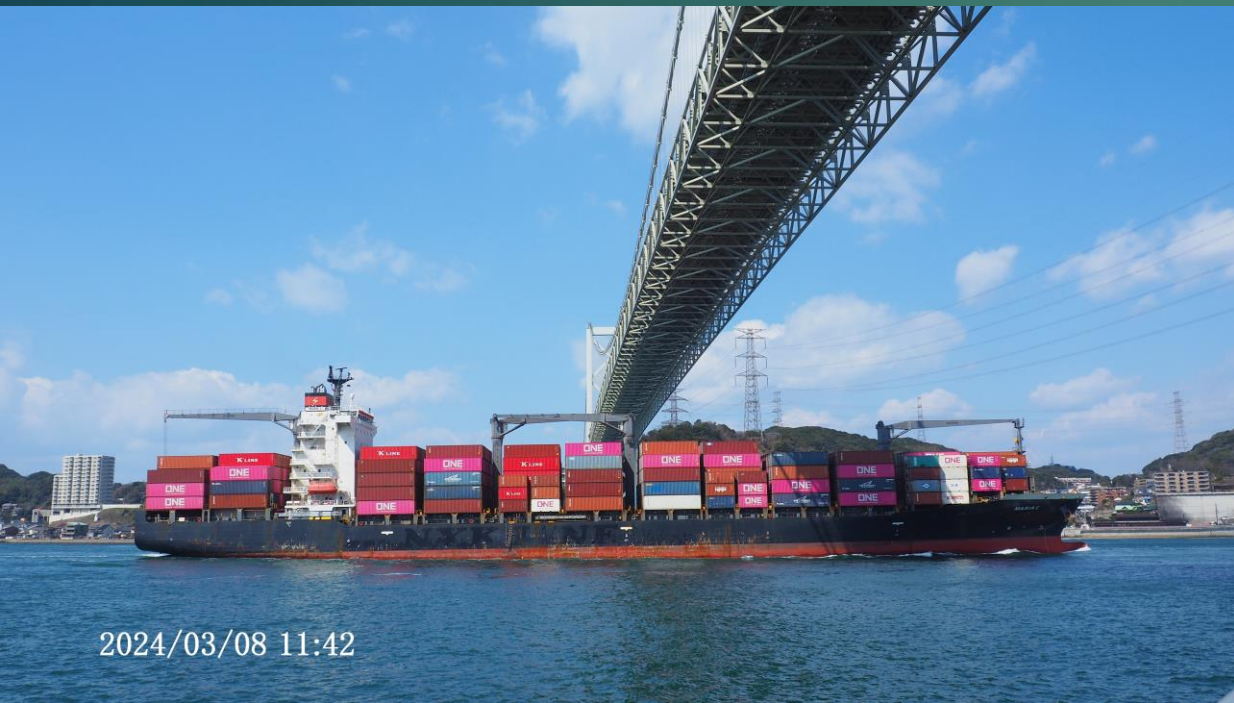




2024/03/08 11:35



2024/03/08 11:37



2024/03/08 11:42



和布刈神社

2024/03/08 11:43



2024/03/08 11:44
和布刈神社



2024/03/08 11:45
枕潮閣(ちんちょうかく)
1900年創業の河豚料理の料亭

和布刈神社



2024/03/08 11:46
和布刈(めかり)神社



2024/03/08 11:51
和布刈神社と
関門橋

2024/03/08 11:53
和布刈神社





RIZ 《米飯料理》

★ビーフカレー	¥720
★焼きカレー(ミニサラダ添え)	¥1,000
★シーフードピラフ	¥820
おすすめ	
★特製ハヤシライス(サーロイン)	¥1,300
★パン・ライス	¥220

お食事後のコーヒーは¥220です

門司港名物 焼きカレー

焼きカレー(ミニサラダ添え)
1000円



2024/03/08 13:03
門司電気通信レトロ館



2024/03/08
13:03



門司電気通信レトロ館



2024/03/08
13:03



2024/03/08 13:04

国産1号電話機

1878年(明治11年)に日本で最初の国産電話機が誕生した。
 電話機の原理は、アメリカのグラハム・ベルが発明した電話機を1877年(明治10年)に輸入し、これをもとに製作された。
 国産電話機も電池を使用していなかったこと
 含め通話品質が劣っていた。
 1883年(明治16年)までに製作されたが、
 実用化に至らなかった。



門司電気通信レトロ館
 Moji Telecommunication Museum

通信の歴史に
 タイムスリップ。

NTT西日本

アクセス情報

- JR門司港駅下車 徒歩で約10分
- 西鉄バス 北口東本町1丁目(下車)徒歩2分
- 車 門司トンネル 門司料金所から1分
- 北九州自動車道 門司ICから5分
- 北九州都市高速4号線 春日ICから7分
- 門司連絡船のりばから徒歩10分

ご利用案内

- 開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 月曜日(祝日が祝日の場合は翌平日)
- 年末年始(12月29日~1月3日)
- 入館料 無料
- 駐車場 乗用車4台程度可(バス2台(要予約)(往輪スペースあり))

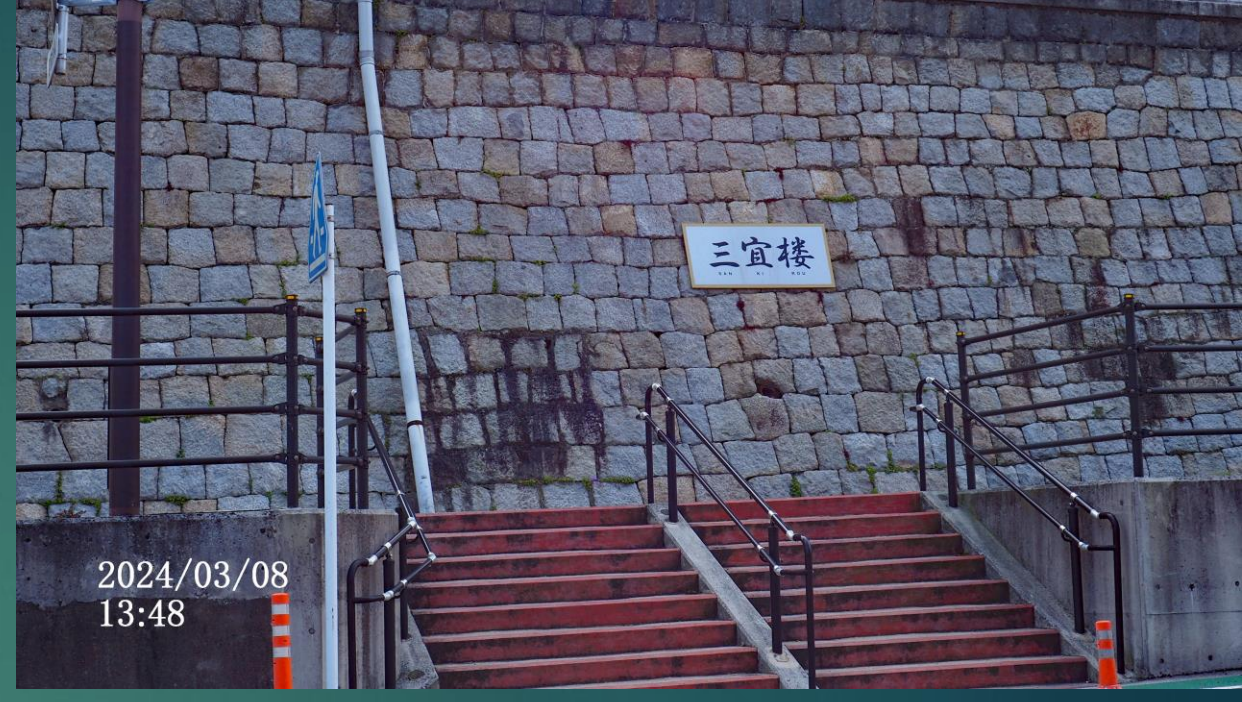
門司電気通信レトロ館
 北九州都市高速道路沿線1号
 TEL-FAX 093-321-1199
<https://www.ntt-west.co.jp/kyushu/moji/>

2024.1





2024/03/08 13:44 三宜楼へ



2024/03/08
13:48



三宜楼

SAN KI ROU

↑ 見学は無料です。
左の階段をお上がりください。

開館時間 10:00~17:00
休館日 毎週月曜日(祝日は除く)



関門ふく料理
三宜楼茶寮
KAITO

明治22年(1889)に門司港が国の特別輸出港に指定され、石炭・米などの輸出品が門司港へと集められるようになります。また、同24年(1891)には九州鉄道会社の門司駅が開業したことで、北部九州における陸上・海上輸送がこの地で繋がりました。その結果、金融機関や地方・中央資本の商社、海運会社の支店などが相次いで門司港地区に進出し、短期間のうちに街並みが形成されていきました。

門司港地区の景観は、築港によって整備された門司港を中心とする狭い平地に、当時最新の技術と意匠を備えた近代建築の事務所等が密集して建ち並び、背後の傾斜地には迎賓や地元経済界の社交場としての料亭や旅館が軒を連ねる、といった二重の構造を呈します。関門の地を訪れた経済人や文化人は、外国へと繋がる門司港と海峡を見下ろしつつ酒を酌み交わし、日本の近代化へ向けての議論を重ねていたかも知れません。

ここ三宜楼は、ここ清滝の丘上から門司港の近代化を見守り、その記憶を留め続けています。



三宜楼

料亭 三宜楼

創業の時期ははっきりしていませんが、1906(明治39)年の九州日報、門司新報に「三宜楼」の名が出ており、1世紀余の歴史があります。木造3階のこの建物の新築・開業は1931(昭和6)年4月。今回の改修再建は83年ぶりとなります。棟梁は門司の岡田孫治郎。

創業者は京都出身の三宅アサ(1854-1937)。三宜楼の創業時は50歳前後でしょうか。京舞井上流名取で101歳で亡くなった名妓「小まめ」はアサの姪にあたり、三宜楼との絆は長く続きました。

アサのあとを継いだのは小倉出身の伊勢子(1899-1986)。名門小倉高等女学校(現・小倉西高)を優秀な成績で卒業しています。夫の為次郎(1895-1988)は下関出身で、幼いころにアサの養子となり、芸能全般、茶道や考古学などの造詣がありました。



創業者 三宅アサ



三宅為次郎



三宅伊勢子

1995(平成7)年に、「門司港レトロ」がグランドオープン。2005(平成17)年から、多くの地元有志の協力で三宜楼保存に向けての調査、さらに土地買収の基金募集がスタート。2009(平成21)年末、この土地を北九州市に寄付しました。その後、北九州市により、出来る限り原形を保った建物補修工事が行われ、2014(平成26)年春完成しました。

「粹」を結集

門司港の文化発信拠点

三宜楼の経営者・三宅家は文化・芸能をこよなく愛しました。

踊り、能、長唄など2階にある大広間の舞台で披露され、三宅家の人たちも出演したと伝えられています。

三宜楼のご鼠員さん方々が開いた宴会には、様々な芸術家や文人が訪れたとも伝えられています。

昭和を代表する、歌手・東海林太郎、喜劇俳優・古川ロッパ、俳人・高浜虚子などの足跡も残っています。

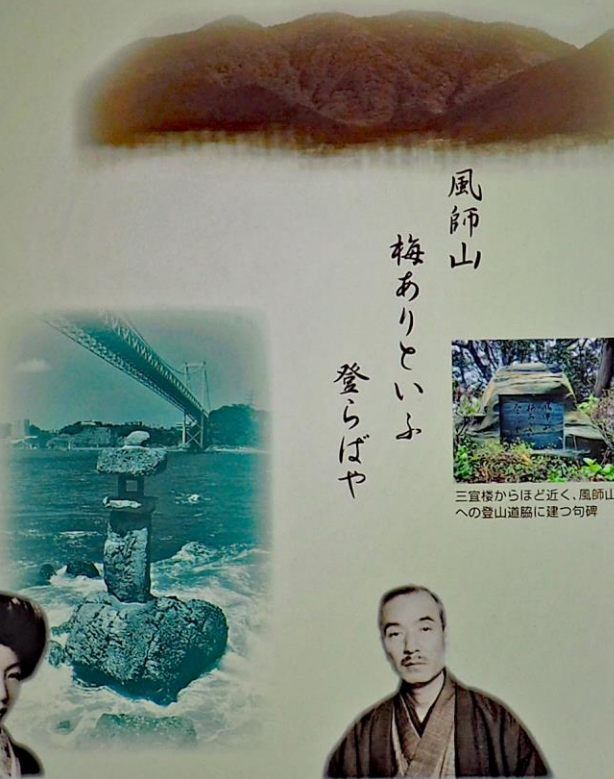
二代目当主三宅為次郎は「虚無」の俳号を持つほどの俳句愛好家で、多くの句集・短冊、俳画が残されています。

3階に一部屋だけ保存・修復された「俳句の部屋」では、当時の門司市長の招宴の折、高浜虚子が「風師山 梅ありといふ 登らばや」の句を詠んだと伝えられています。

SAN KI ROU

門司港の自然と歴史に魅せられた俳人

春潮に流るる藻あり矢の如く



風師山

梅ありといふ

登らばや



三宜楼からほど近く、風師山への登山道脇に建つ句碑



杉田 久女 (1890-1946)

大正、昭和期の女流俳人。
明治後期より生涯、北九州に居住。
大正6年の「ホトギス」初出句をきっかけに女性俳句の草分けとして活躍。
高浜虚子から「清艶高華」と評されています。

写真提供：北九州市立文学館



高浜 虚子 (1874-1959)

明治、大正、昭和期の俳人。愛媛県に生まれる。
正岡子規との交流から俳句の機軸を得る。
代表的な句誌「ホトギス」を長く編集しました。
しばしば九州を訪れ、殊に門司とは縁深くいくつも門司の句を詠んでいます。

写真提供：朝日新聞社

SAN KI ROU

料亭で能が上演されていました



百畳間の舞台では、能がしばしば演じられてきました。当家の人たちも修練し舞台に立つこともあったようです。



芸妓たちは小唄、長唄、常磐津、踊りなどの芸を磨くため師匠を招き熱心に指導を受けていたそうです。



舞台上演する当主の三宅為次郎

樂者 天地之 和也

昭和十七年晩秋
東海林左郎

樂者

東海林 太郎 (1898-1972)

戦前戦後の代表的な流行歌手。
直立不動、ロイド眼鏡に燕尾服で唄う姿で親しまれました。「美と兵隊」、「名月赤城山」「むらさき小唄」などの歌が大評判になりました。



古川 緑波



古川 ロッパ (緑波・1903-61)

徳川夢声、榎本健一(エノケン)と並ぶ、昭和期の著名な喜劇俳優、声優。早大を中退しましたが、在学中に映画評論などを執筆、「キネマ旬報」の編集にも関わりました。小学生の一時を門司で過ごして、今の小森江東小学校に通っていました。





北村李軒
明治24年(1891)作
高松市立美術館蔵

北村 李軒

(明治24年～昭和36年)

現在の高松市に生まれる。細密な描写と豊かな色彩が持味の南画家。俳人、陶芸家などと幅広い交流があった。どのような経緯で揮毫に至ったかは定かではない。



2024/03/08
14:27



2024/03/08 14:27

中央ゲート

ACCESS

九州鉄道記念館

県門前港駅からすぐ (徒歩3分)

山口方面 平田線乗車後徒歩約10分 (九州中央バスで15分)

八幡方面 北九州都市高速道路に利用の乗換後... 徒歩15分

福岡方面 九州自動車道に利用の乗換後... 徒歩15分

九州鉄道の起点が誕生した。
明治24年

九州鉄道路線の出発点 鉄道のワンダーランド

ミニ鉄道公園

前頭部展示 運転台見学

前頭部展示 3台以上はすべて九州で活躍した車両で、EF30、ED76、148系電車の1481-2460の運転台が展示されています。この車両も中に入り運転機器を操作する事が出来ます。

料金のご案内

大人	入館料 300円 お茶 240円	中学生以下	入館料 150円 お茶 120円
----	---------------------	-------	---------------------

※ 4歳未満は無料、団体は30名様以上です。 ※ 購入額は出庫しません。

※ 北九州都市高速道路利用時、(北九州中央バスで15分)以上であることが出来る場合は、(平日)平日16時以降は、(土)休日17時以降は、お茶代は240円です。

※ 北九州在住で「身体障害者手帳」「療育手帳」「精神障害者保健福祉手帳」「障害者手帳」をお持ちの方は無料です。

(入館の際、ゲートにて提示下さい)

● ペットおよび飲食物の持ち込み、車内での飲酒はおりません。

● 開館時間 □ 午前9時～午後5時まで (入館は午後4時まで)

● 休館日 □ 不定休 (9月19日(金)は休館日となります)

九州鉄道記念館 〒801-0833 北九州市門司区清滝2-3-29
TEL093-322-1006 / FAX093-332-7233
E-mail k-tetsudo@k-rhm.jp URL http://www.k-rhm.jp

九州鉄道記念館
Kyushu Railway History Museum
Since 2003





2024/03/08 14:32
鉄道記念館

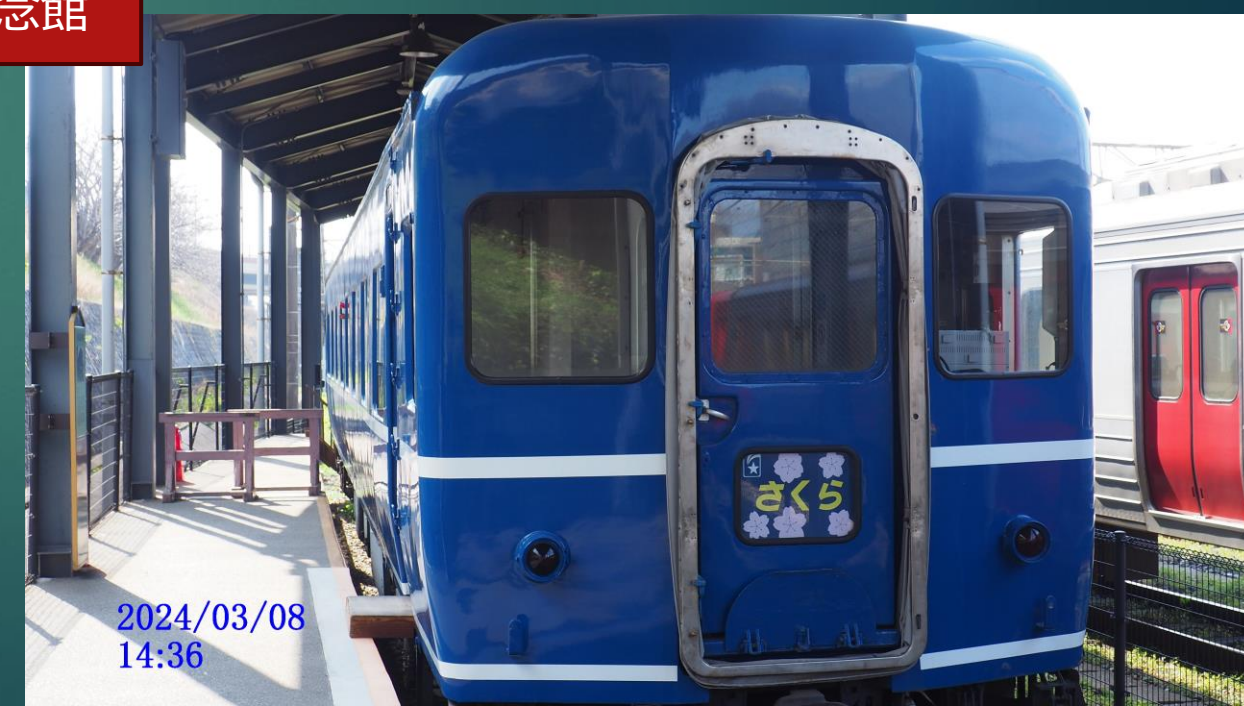


2024/03/08
14:32

九州鉄道記念館



2024/03/08
14:34



2024/03/08
14:36

2024/03/08 15:08
旧門司三井倶楽部



林芙美子記念室
アインシュタインメモリアルルーム

2024/03/08 15:08



北九州市
旧門司三井倶楽部

2024/03/08 15:08
旧門司三井倶楽部



旧門司三井倶楽部



フランス・マルセイユ出帆の日本郵船「北野丸」で訪日の途上、大正11年（1922）11月12日、香港から上海への船中で、「1921年度ノーベル物理学賞」受賞の電報を受けた折りに撮影。

写真提供 日本郵船株式会社



アインシュタイン博士のサイン入り扁額

館内にはお手を触れないでください。Please do not touch the exhibits. 館内撮影禁止。Photography is prohibited. 複製は複製許可を得る必要があります。Reproduction requires permission from the museum.

アインシュタイン博士のサイン入り扁額



アインシュタイン博士は大正11（1922）年11月27日に来日し、12月29日まで滞在して講演などをおこないました。この間、12月23日に門司に入って三井倶楽部で1泊し、翌日は福岡市で日本最後の講演をおこなって、博多の栄屋旅館に宿泊しました。博士は栄屋旅館で要望に応じ、いくつかサインを残しました。これもその一つで、同行した物理学者の石原淳が「おほいなる 相対論の創始者の髪ややしろし 冬の日あかく」と歌を書き、真ん中に博士が「A E」「1922」とサインを入れています。

複製 個人蔵

**門司港レトロ地区
迷惑行為防止活動推進地区**

【北九州市迷惑行為防止促進生活環境の確保に関する条例】
第11条第1項の規定に基づき、下記に示す区域を
「迷惑行為防止活動推進地区」に指定します。
(指定区域：中區門司港1丁目)

迷惑行為防止活動推進地区

北九州市

バナナの叩き売り発祥の地

**バナナの叩き売り
発祥由来の記**

昔しを偲べば、大陸、欧州、台湾、国内航路の基幹と、九州鉄道の発着の基地点として大いに発展した、ここ棧橋通りは往昔の絵巻の「こま」として、アセチレンの灯のぶい光の下で、黄色くうれたバナナを戸板にならべ、だれとはなしに産まれ伝わる名セリフは大正初期、昭和十三、四年頃まで不夜城を呈し、日本国中の旅行者の、目を惹きました。バナナの叩き売りの風情は門司港のこの地棧橋通り附近を発祥の地と由来せし。
昭和五十三年四月吉日

門司港発展期成会
北九州市門司区役所

平成29年(2017年)4月「門司港バナナの叩き売り」は、関門「ノスタルジック」海峡の構成文化財の一つとして、JR門司港駅、旧門司三井倶楽部とともに「日本遺産」に認定されました!

門司港バナナの叩き売りの動画が視聴できます。

2024/03/08
15:37

バナナの叩き売り

発祥由来の記

昔しを偲べば、大陸、欧州、台湾、国内航路の基幹と、九州鉄道の発着の基地点として大いに発展した、ここ棧橋通りは往昔の絵巻の「こまとして、アセチレンの灯のにぶい光の下で、黄色くうれたバナナを戸板にならべ、だれとはなしに産まれ伝わる名セリフは大正初期〜昭和十三、四年頃まで不夜城を呈し、日本国中の旅行者の、目を楽しませた。バナナの叩き売りの風情は門司港のこの地棧橋通り附近を発祥の地と由来せし。

昭和五十三年四月吉日

門司港発展期成会
北九州市門司区役所

